

User Report

ユーザーレポート

～0の証明～

一般貨物運送

三協運輸株式会社

いつでも使えるメリットを活かし、安全対策のさらなる拡充へ。 課題の発見・共有だけでなく、人材採用にも活用しています

青森市を拠点に、北海道と首都圏をつなぐ長距離食品輸送から地場配送まで、総合物流事業を手がける三協運輸株式会社。東北エリアでいち早くACM300を導入した同社では、どんな変化が起き、どんな展開を考えているのか。3名それぞれの立場からざっくばらんに語っていただきました。

ご利用機器



PC、ステアリング、ペダル、プリンターがセットになった卓上型ドライビングシミュレータ「ACM300」

導入のきっかけ 安全管理の観点から「いつでも社内で 運用方法 使える」環境が最適と判断

小山内：当社は大手食品メーカーの長距離輸送や青森県内の地場物流を担っており、荷主企業の事業活動や地域経済を支えるためにも、安全対策の拡充は必須です。Gマークの取得・更新にも長年積極的に取り組み、適性診断（一般診断）については、青森県トラック協会の移動診断サービスを利用してきました。それが数年前に廃止されることになり、対応策を考える中で出てきたのが、自社でドライビングシミュレータを購入するという選択。自社内にシミュレータがあれば、直近の課題だけでなく将来的にも活かせる、という判断で、2015年秋にACM300を導入しました。

宇野：ACM300導入のメリットは、「いつでも社内で適性診断を行える」点にあります。そこで当社では、本社の一室に機器を常設し、法令で定められた一般診断だけでなく、最低年1回は全ドライバーに適性診断を受けてもらう制度に改めました。365日いつでも使えるようにしていますので、個々の判断で体調の良いときに受けられます。加えて、診断開始から結果が出るまで短時間で済む点や、一人で行える（＝受診者が集中しやすい）点もACM300の特徴であり、ドライバーの負担を軽くすることに役立っていると思います。

いつでも使える環境

シミュレータ(ACM300)自社購入

一般診断に係るドライバー負担の軽減

診断実施に向けた管理者負担の軽減

適性把握機会の増加(時系列的傾向把握)

課題の明確化と共有の促進

人材採用時の適性判断

取材ご協力

三協運輸株式会社

専務取締役 小山内久男 様
営業次長 運行管理者 宇野博文 様
弘前営業所所長 運行管理者 三上健次 様
〒038-0023
青森県青森市大字細越字栄山555番地1
TEL 017-739-1611 FAX 017-739-1612



累積効果と 今後の展開 繰り返しの中で見えてくる個々の傾向。 指導する側の目も養われる

三上：私は弘前営業所の所長をしておりますが、診断票の存在も大きいですね。客観的な評価が印刷されて出てきますから、指導時に話のきっかけを作りやすく、課題の共有もしやすい。その一方、2度、3度と診断を受けるドライバーも出てきて、これまでとは違う私自身の変化も感じています。

例えば、普段は温厚で堅実な運転をする人でも、診断結果を見ると、ある部分の点数が毎回低いということがあります。最初は機械に

慣れていないせいかもしれないのですが、しばらくすると現場で実際に問題が起きたり……。どこか、というのは人によって異なりますが、ポイントを見極める指導者としての目が養われてきたように思いますね。

宇野：先ほど、最低年1回の診断というお話をしましたが、それ以外に当社では、人材採用の際にも応募者にシミュレータ診断を受けてもらい、参考にしていきます。経験者採用の場合、すでに自己流の運転に慣れてしまっている部分もありますから、そのクセを見直し、当社の安全に対する考え方を理解してもらうことにもつながるわけです。

小山内：ACM300導入や教育研修の充実の他、当社では一般道での60km/h走行の徹底といった独自の取り組みも行っていますが、現状で言いますと、完全に事故ゼロと言い切れないところが残念でなりません。とはいえ、事故損害の度合いは着実に小さくなってきていますので、さらなる安全対策の拡充を図っていきたく考えています。

宇野：具体的に私が考えているのは、デジタコやドライブレコーダとの連携。日々の運行データで何か問題が見つかった場合は、シミュレータ診断に立ち返る…という流れで、これには気づきを促すねらいもあります。

三上：現場を統率する立場でいうと、シミュレーションによる診断ポイントをもっと日常のアドバイスに活かしたいという思いがあり、「添乗指導」を行う計画です。指導というと堅苦しいイメージですが、願うのはプロとして信頼されるドライバーになってほしいということ。それが本人の自信や安心となり、成長にもつながりますから。

取材後記 ACM300導入に際して、取材中「ドライバーの負担を軽くするため」という言葉が幾度となく出てきた。確かに日々の業務による疲れや慣れない環境下での診断では、本当の適性が測れないおそれも、自社購入のメリットは、そんなところにもあると改めて感じた。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。